

[報告]平成 29 年度「徳島の魅力、徳島で働く～徳島で働くためのガイダンス～」の開催について

県内大学、高専の学生と保護者及び県内大学への進学を希望する高校生を対象に、県内企業の魅力やビジョン、また、徳島県で働くこと、暮らすことの意義について周知を図り、県内での定着率の増加につなげることを趣旨・目的とし、ガイダンスを実施した。徳島の成長・課題分野と関連企業についての紹介、県内企業の今後の経営戦略に基づく『人材活用』『人材登用』における取り組みなどの情報提供を対象者に対して行い、今後成長が期待できる企業や業界の人材ニーズについて学生・保護者の理解を広げた。

(1) 企画名

「徳島の魅力、徳島で働く～徳島で働くためのガイダンス～」

(2) 日時

平成 29 年 12 月 16 日 (土) 13:00～16:30

(3) 会場

徳島大学常三島キャンパス理工学部内 共通講義棟 6 階創成スタジオほか

(4) 内容

13:00 : 開会挨拶 (吉田和文徳島大学理事)

13:05-13:10 : 趣旨説明 (山中英生推進監)

13:10-13:40 : 基調講演『データから見る徳島の未来』竹中淳二氏 (徳島経済研究所理事・事務局長)

13:45-14:15 : トークセッション『徳島の魅力』

パネリスト;

片倉悠暉 (工学部 4 年・(一社) 徳島新聞社インターンシップ 1 期生)

納多里奈 (総合科学部 4 年・大塚テクノ(株) インターンシップ 1 期生)

河野俊哉 (工学部 3 年・(有) 檜山農園インターンシップ 2 期生)

ファシリテーター;

安井朗洋 (大学院・栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻)

14:15-14:20 : レビュー (松重和美四国大学長)

14:20-15:00 : メインプログラム『4 分野関連企業の経営戦略やビジョン、人事戦略等の紹介』

①次世代技術関連分野; 藤村実氏 (日産サテリオ徳島グループ代表)

②地域医療・福祉関連分野; 中村晃子氏 (健祥会グループ本部長)

③6 次産業化関連分野; 市岡通裕氏 (市岡製菓(株)代表取締役社長)

④地域づくり/観光/ICT 関連分野; 植田佳宏氏 (祖谷溪温泉観光(株)代表取締役社長)

15:10-15:55 : 個別企業相談会 (19 社)

①次世代技術関連分野;

大塚テクノ(株)、藤崎電機(株)、港産業(株)、中道鉄工(株)、(株)NDK

②地域医療/福祉関連分野;

健祥会グループ、(株)テレコメディア、(株)シケン、(NPO) どりーまあサービス、博愛記念病院

③6 次産業化関連分野;

(有) 檜山農園、(有) 竹内園芸、海部次世代園芸産地創成協議会、市岡製菓(株)

④地域づくり/観光/ICT 関連分野;

(株)ネオビエント、(株)QLiP、(株)ダクソフト、海底少年



トークセッションの様子



会場の様子



メインプログラムの様子（植田佳宏氏）



個別企業相談会の様子（(株)ネオビエント）

(5) 来訪者数

238人（学生117人、保護者29人、関係者41人、出展者39人、登壇者12人）

【参考】平成28年度来訪者数120人（学生45人、保護者26人、関係者31人、出展者18人）

① 学校別参加者数

	徳島大	四国大	徳島文理大	阿南高専	徳島工短	高校	計
学生	96	2	9	3	1	6	117
保護者	23	1	0	2	0	3	29
計	119	3	9	5	1	9	146

② 学部別参加者数（徳島大学のみ）

	総合科学	医	歯	薬	理工（工）	生物資源	大学院	不明	計
学生	24	1	0	7	20	42	2	0	96
保護者	6	0	0	0	11	1	4	1	23
計	35	1	0	7	43	46	12	1	119

③ 学年別参加者数

	高2	高3	高専2	高専4	学部1	学部2	学部3	学部4	院1	院2	計
学生	5	1	0	4	53	14	50	2	4	2	117
保護者	1	2	1	3	12	3	11	2	4	2	29
計	6	3	1	7	45	17	61	4	8	4	146

(6) アンケート回答の抜粋 (有効回答数：学生 89 人、保護者 14 人)

① 徳島県内の企業への就職についてどの程度関心がありますか。(一つ)

		学生	保護者
①	本ガイダンスの参加以前より、徳島県内へ就職を考えていた。	22 人	5 人
②	本ガイダンスの参加以前より、就職先として選択肢に考えていた。	26 人	5 人
③	本ガイダンスに参加して、就職先として選択肢に考えるようになった。	13 人	1 人
④	就職先としてはあまり考えていない。	10 人	1 人

② どのような目的で本ガイダンスに参加されましたか。(複数可)

		学生	保護者
①	県内企業の情報が欲しかった。	48 人	10 人
②	県内企業の強みや可能性を知りたかった。	29 人	5 人
③	県内企業に就職するための具体的なアドバイスが欲しかった。	14 人	3 人
④	就職先に迷っており、選択肢を増やしたかった。	25 人	3 人
⑤	その他	12 人	1 人

③ 質問②で回答された目的について期待されていた情報は得られましたか。(一つ)

		学生	保護者
①	期待通りの情報が得られて満足している。	42 人	5 人
②	期待していた情報は得られたが、不十分である。	12 人	2 人
③	期待していた情報は得られなかったが、本ガイダンスには満足している。	19 人	3 人
④	期待していた情報は得られず、不満である。	4 人	0 人

④ このようなプログラムを実施するに際して、どの時期が適切ですか。(一つ)

		学生	保護者
①	適切である。	56 人	8 人
②	もっと早く実施して欲しい (7 月、8 月、9 月頃)	8 人	3 人
③	もう少し早く実施して欲しい (10 月、11 月頃)	21 人	3 人
④	もう少し遅く実施して欲しい (1 月、2 月頃)	1 人	0 人

⑤ 自由記述

【基調講演】

良かった点

- ・全国と徳島を比較して、徳島の強み、弱みを明確に示した情報を得られたことが良かった。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1 年)

改善してほしい点

- ・「徳島の未来」が最終的にどのようなものになるのか、まとめのようなものが最後にあったらより分かりやすかったです。(学生/徳島大学生総合科学部人間文化学科/3 年)

【トークセッション】

良かった点

- ・自分たちと同じような立場から話していただいたので、インターンシップを経験してからの考えの変わり方が理解しやすく、よかった。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1 年)
- ・想像以上によかった。(保護者/徳島大学工学部化学応用工学科 3 年)

改善してほしい点

- ・それぞれのインターンシップ先でどのようなことをしたのか、もっと具体的に聞いてみたいと思った。(学生/総合科学部社会総合科学科/1 年)
- ・大学生の新しい情報などが聞けるので、質問できる時間などを設けた方がいいと思った。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1 年)

【メインプログラム】

良かった点

- ・さまざまな分野で、徳島の魅力や徳島で働くことの魅力がそれぞれあって、改めて故郷徳島を大切にしたいと思った。(学生/徳島大学薬学部共通学科/1年)
- ・徳島の重要産業それぞれが抱える思考や目標、課題などを分かりやすく学ぶことができた。徳島の企業のパワフルさを知ることができた。(学生/徳島大学総合科学部社会創生学科/3年)
- ・新しいものが必ずしも東京から出てくるという訳ではないということを改めて認識することができた。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1年)

改善してほしい点

- ・もう少し時間を長くとっても良いので、多くのことを聞きたかった。手短に展開しすぎて、よく分からない部分があった。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1年)
- ・メインプログラムとしては物足りないように感じた。せっかくの社長さんや代表の方のお話を聴ける機会であり、これを楽しみに参加したので少し残念だった。(学生/徳島大学生総合科学部人間文化学科/3年)

【個別企業相談会】

良かった点

- ・樫山農園の話聞き、自分が今まで農業についてよく知らなかったことを思い知った。農業の仕組みや、育て方、経営方法まで知ることができ、さらに関心が強まった。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1年)

改善してほしい点

- ・もう少し長く話を聞きたかった。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1年)
- ・抽象的な話が多いように感じた。(学生/徳島大学生物資源産業学部/1年)

【プログラム全体について】

良かった点

- ・次のプログラムへ移るとき、スムーズで良かった。長いガイダンスだったが、待つ疲れは全然なかった。(学生/徳島大学生総合科学部人間文化学科/3年)
- ・就職だけでなく、自分の未来について考えるいい機会になりました。(学生/徳島大学生総合科学部人間文化学科/3年)

改善してほしい点

- ・「徳島ならでは」という情報を得られるというガイダンスであるというアナウンスを聞いて参加したので、少し思っていたものとは違った。全体の構成のバランスが違えば満足できたと思う。(学生/徳島大学生総合科学部人間文化学科/3年)

(7) 総評

【基調講演】

データベースで徳島を知ることができたという点で満足度が高かった。一方「『徳島の未来』が最終的にどのようなものになるのか、まとめのようなものが最後にあったらより分かりやすかったです。」や「これから人口がどんどん減ることで、総生産はより減ることになる。そこを現段階でどう対応する予定なのか、話して欲しかった。」といった意見に見られるように、徳島の現状を踏まえた今後の展望についての解説を望む意見が見られた。プログラム後半にその答えがあるように構成されているので、プログラムの繋ぎについて考慮する必要がある。

【トークセッション】

学生にとっては、三者三様の価値観に触れ、自身の将来に向けた行動を検討するにあたり良い機会となったようだった。また、保護者、関係者、出展者にとっては学生のインターンシップにおける実績と彼らの職業観についてそれぞれの立場で解釈できる余地のあるものとなった。

【メインプログラム】

満足度は高く、「時間が足りない、もっと聞きたい」という意見が多数あった。

【個別企業相談会】

総じて「もっと話したかった」という意見であった。また、運営面については、メインプログラムから個別企業相談会への会場誘導について課題が残った。

【プログラム全体について】

概ね高評価であった。

【来年度実施に向けた検討事項】

検討事項として、情報提供の内容設定が挙げられる。今年度の本ガイダンスは、高等教育機関の学生とその保護者及び県内大学や県内企業への進学を希望する高校生を対象に、県内企業の魅力やビジョン、また徳島県で働くこと、暮らすことの意義について周知を図り、県内での定着率の増加につなげることを趣旨、目的として実施した。その手段として、徳島の成長・課題分野と関連企業についての紹介や、県内企業の今後の経営戦略に基づく「人材活用」「人材登用」における取り組みなどの情報提供を行い、今後成長が期待できる企業や業界の人材ニーズについて取り上げた。

また、事後アンケートで「本ガイダンスに参加して、就職先として選択肢に考えるようになった」と回答した学生が13名いたように、当初県外就職を考えている学生に対しても、県内就職を選択肢として加える動機付けになるという点の有効性が確認できた。このため、十分な情報を持たないまま県外就職に意識が向いている学生の参加を促すことが重要と考えられる。しかしながら「徳島で働くためのガイダンス」という名称では、こうした学生への勧誘が難しい点が見られたことから、来年度以降、広報や提示方法について検討が必要と考えられる。